

~~539~~
482

特 251

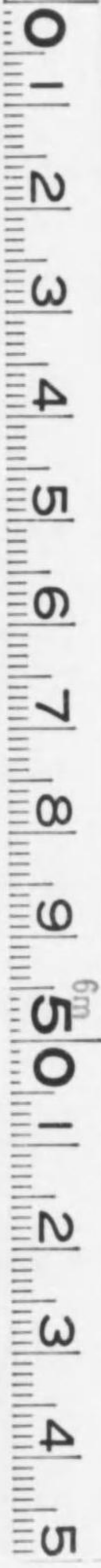
10

397

81

食糧増産と臣道實踐

農林大臣 石黒忠篤氏講演



始



特. 251
397

この講演速記は昭和十六年一月十二日、大阪市中
 央公會堂に於ける本協會主催食糧報國大講演會に
 於て四千の聴衆を前にされたる憂國興農の大獅子
 吼である、これを上梓する所以のものは一人にで
 も多く時局下に於ける農業の重要性を認識して頂
 かんがためにほかならぬ、一人にでも多く供覽さ
 れんことを希望する。

財團法人 富 民 協 會

食糧増産と臣道實踐

農林大臣 石黒忠篤氏講演

本日は財團法人富民協會の時局柄最も意義深い米の増産、ならびに稻作増産功勞者表彰の式典が午前中この公會堂に
 おいて催されたのであります。しかして只今御會同の皆様方の最も熱心なる御賛同によりまして米穀増産の誓ひがこの
 席で誓はれたのであります。私は農林の行政のことを御預りいたしてをります當局者といたしまして、深くこゝに感謝の
 意を表する次第であります。私がこの午前の表彰の式にお伺ひするために東京から参ります汽車の中で今朝私に課せら
 れた題が食糧の増産と臣道實踐といふ演題であるといふことを拜承いたしましたのであります。食糧に關しまする臣道の實
 踐といましては、只今大阪毎日の下田主幹の開會の御言葉のうちにありましたやうに、生産の方面、配給の方面、消
 費の方面、各方面においてそれぞれの立場で一國の食糧を十分に足し得ない場合においても足らざるところは何とか工
 夫をいたし節約をいたし、限られた數量においても出来るだけ有効にそれを使ふといふことに、各方面それぞれの御盡
 力を願ひ、さうして一國の食糧の上におきましてこの時局下極めて困難なる状況に乗切つて行くといふことに、それぞ
 れ生産者、配給者、消費者の立場において協力せられるといふことが食糧問題における臣道の實踐であると考えらるるので
 あります。只今の戦争といふものは單に兵力、武器の戦争では御座りません、それぞれの國が各々國の總力をつくして
 或ひは經濟の點において、あるひは食糧の點において、結局困難を克服いたしましてはじめて最後の勝利が獲得せられ

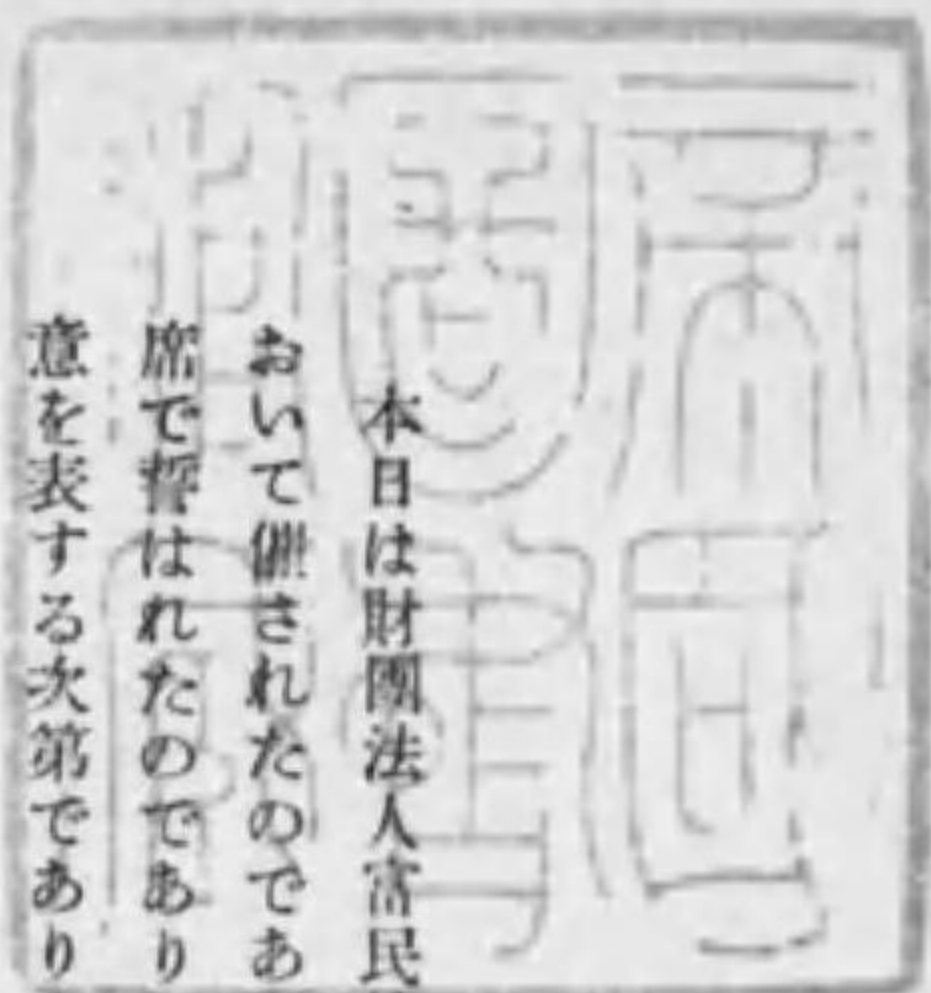
特 251
397

この講演速記は昭和十六年一月十二日、大阪市中
 央公會堂に於ける本協會主催食糧報國大講演會に
 於て四千の聴衆を前にされたる憂國興農の大獅子
 吼である、これを上梓する所以のものは一人にで
 も多く時局下に於ける農業の重要性を認識して頂
 かんがためにほかならぬ、一人にでも多く供覽さ
 れんことを希望する。

財團法人 富 民 協 會

食糧増産と臣道實踐

農林大臣 石黒忠篤氏講演



本日は財團法人富民協會の時局柄最も意義深い米の増産、ならびに稻作増産功勞者表彰の式典が午前中この公會堂に
 おいて催されたのであります。しかして只今御會同の皆様方の最も熱心なる御賛同によりまして米穀増産の誓ひがこの
 席で誓はれたのであります。私は農林の行政のことを御預りいたしてをります當局者といたしまして、深くこゝに感謝の
 意を表する次第であります。私がこの午前の表彰の式にお伺ひするために東京から参ります汽車の中で今朝私に課せら
 れた題が食糧の増産と臣道實踐といふ演題であるといふことを拜承いたしましたのであります。食糧に關しまする臣道の實
 踐といましては、只今大阪毎日の下田主幹の開會の御言葉のうちにありましたやうに、生産の方面、配給の方面、消
 費の方面、各方面においてそれぞれの立場で一國の食糧を十分に足し得ない場合においても足らざるところは何とか工
 夫をいたし節約をいたし、限られた數量においても出来るだけ有効にそれを使ふといふことに、各方面それぞれの御盡
 力を願ひ、さうして一國の食糧の上におきましてこの時局下極めて困難なる狀況を乗切つて行くといふことに、それぞ
 れ生産者、配給者、消費者の立場において協力せられるといふことが食糧問題における臣道の實踐であると考へるので
 あります。只今の戦争といふものは單に兵力、武器の戦争では御座りません、それぞれの國が各々國の總力をつくして
 或ひは經濟の點において、あるひは食糧の點において、結局困難を克服いたしましてはじめて最後の勝利が獲得せられ

るのであります、しかしそのうちにおきまして食糧の問題といふものは、戦時が長期にわたれるにしたがひまして、重大の度を加へて参り、戦闘の行爲において考へましても結局武器だけでは戦争が出来ないといふことになつた。收戦の憂目を見た國々は歴史の上で澤山あり、遠く遼らずとも過般の世界大戦においてドイツの如く戦闘において十分の勝ちを占めてをりながら、食糧の問題においてつひに敗北の苦境に立たなければならぬやうな事になつたのを見ても明らか知られるのであります。故に戦後におけるドイツのナチス政府のもとにおきましては、食糧の増産といふことに最も重きを置かれて、銳意農業の發展、食糧の確保といふことにつとめ來つてをりました結果が、今回の歐洲動亂におきましてもこの方面において心配なく色々なる制度がたゞちに行はれ、十分なる準備も出來て戦闘行爲も支障なく敢行してをるといふやうな状態になつてをります。しかし最近において本來農業國であります佛國が收戦の憂目に遭つて、ベタン老將軍がヴィシーの政府を主宰して先般申しましたところの嘆聲は何であつたか「われわれ戦敗のあとを顧みて本來農業國であつた筈の佛國が農業を最近において軽んじた結果がこの戦敗を來したと思ふ、戦争の混亂を來したと思ふ」これはかならずしも食糧の問題に限つたことではありません。農業や農民といふものに重きを置くべしとの心を輕んじた結果が斯うな事になつたといふことについて、戦敗國たる佛國の再興を考へるにはこの點を非常に注意しなければならぬといふ嘆聲を最近に洩らしてをるといふ證左は、この邊の事情を如實に物語つてをるものと私は考へるのであります。二千年の昔におきましても支那の春秋戰國時代に各鎬をけづつてゐる時に當時の大道總家であり大政治家であつた孔子さまに對して第一の御弟子の子貢が問ふた。

「政治の要道といふものはどうだ」

その春秋戰國の時代に國を立て、行くことの要道は何であるか、孔子さまがこれに答へて曰く

「兵を足し食を足し民これを信す」

只今の状態とすこしも違ひはない。只今も十分なる軍備と兵制とをもつてするにあらざれば國はこの時局下におきま

ては立ちゆけません、これ高度國防國家の體制にますます進まなければならぬ世界の情勢にあるといはれる所以であると思ふのであります。しかもそれだけでは十分でない、食を足せ、こゝにわれわれ増産の必要、食糧の節約の必要といふものがあるであります。古今東西非常時における國家の政治の要點といふものは同じこと、思はれるのであります。かやうにいたしましたはじめて民これを信す、國民がはじめて國家について安んじて政治の恩恵に浴することが出来る、かういふわけであると思ふのであります。かように兵と食といふものが今日の世界において國を建てる上において必要なくべからざるものであります、それはそもそも國の何づこの點に最も根據を持つてをるのかと申しますと、申すまでもなく農村においてその根源を最も多く見出すのであります。この故にベタン老將軍が戦敗の苦を嘗めて、「われわれは農村を輕視し過ぎた」といふが如き嘆を洩らしてゐること、私は思ふのであります。このことは從來農村に關係を致し農業に關係を深く持つてをりましたものが、つねに國家の本が農にあるといふことを極力主張し來つたのであります。わたくしを世間では頑固な農本主義者であるといふやうに見てをります。頑固であるか、頑固でないか私は判りませんが決して私の一個人の主張ではない、わが民族の民族的熱情であると私は思ふ。民族的熱情であることを何が故にいままでやかましくわれわれが主張して來たかと申しますと、只今までの自由なる營利行爲の許されました時代におけるその經濟機構のもとに農業が取上げられたことが果して國家のために農村といふものを重視したかどうか反省してみましたならば思ひ半ばに過ぎるものがあらうと思ふ。かようなことがあつては農業の衰頹が來、農村の衰微が來る。これはわが國家の根本において恐るべきものとなるといふことからわれわれはさういふ營利、自由の時代における農村、農業の取扱ひに對しましてその利益の主張をいたし、擁護をいたし、その主張を唱へました次第であります。私が昨年の夏滿洲の奥地へ入り込みまして、學生の諸君とともに新しき日本の農民の發展の地を求め、その經營に携つてをりましたところが、測らずも近衛公府から招電をうけまして歸つて來たのであります、非常なる決心をもつて近衛公府がやむを得ずして起たれた。お前も農林省の方を引受けてくれといふことを前にも頼んだことがあるが固辭された。その事情も

よく知つてをる。たゞいま滿洲奥地でやらうとしてゐることについての意義も認める。けれどもこの際においては是非引受けてくれるといふやうな懇請がありましたので……、最早や内閣は出来てをり、農林省の位置だけが空けてあるやうな事情でありますために、私は遅れて参りました結果引受けざるを得ん、近衛總理大臣の非常なる決心に對して斷るべきことでないと思ひましたので、御引受けをいたすことにいたしましたのであります。この時局におきまして、一昨年以來只今下田主幹の仰言つたやうに、國の食糧問題といふものが非常な困難に直面をしてをる時に、これを自分の經驗によつて、どういふ風に自分でうまく解決をつけるといふやうな大きな抱負を持つてをるものでは御座りません。わが國の當面してをる食糧問題といふものは、一昨年以來非常なる速度をもちまして、非常な困難な問題に當面してをるのであります。仲々誰人が當つてもその處理に關しましては萬全を期するといふやうなことを輕々に考へ得るものではないのであります。私のやうな微力なものがこれを自ら進んでその衝にあたるなどといふことは到底出来るものではありません。けれども前後の事情やむを得ずして私は御引受けをいたしましたのであります。唯々死力を盡して誠心誠意この局に當るといふ以外に何等の手を持つてをるものではありません。しかししてこの難局を突破するに當りましては唯々ひとへに農村の諸君と一體となつて、ともに誠心誠意少しでも増産をいたして供給を豊にいたし、市民の諸君に懇へて少しでも消費の節約をして戴いて國民全體が難局に生き抜くといふこと、自他ともに生きるといふことにお互ひに誠心をもつて抱合つて行くことにお互ひに力をいたすほかに方法はないのであります。私が遅れて参りました就任をいたしました當時、新聞は石黒は多年農村に關係してをつたものであるから全國農村の熱烈なる支援をもつて就任をしたといふ誠に有難い御批評を頂いたのであります。果してさうであつたかどうか私は判りませんが、私の前半生といふものは農事行政のことに當らせて頂いたために、割合に各地の農村の方々に御知合ひが多い。その農村の熱情にすがりまして誠意を披瀝して、ともにこの國難の現状を乗切るといふことに願ふほかに方法はないのである、こう考へたのであります。農村の生産に當つてをられる諸君、それらのことの行政を御預りしてをる私ども、それぞれ分擔してをるところは

違ひますけれども、個々の心を一つにして農業生産方面に少しでも心配を少なくするやうに努力、協力を固く願ひするよりほかにない、こう考へたのであります。もし農村方面における私に對する御支援といふものが、私が年來農業の利益のためにいろいろな主張をして來たあのおやじが農林大臣に就任したならば、農村のためにもつと利益を主張するであらうといふ氣持をもつて私の就任を御支援下さいましたならば、これはとんでもない間違ひであると思ひます。私は世の中から頑固な農本主義者であるといふことをいはれてをるものでありますからこそ、この國難の時代におきまして農村の諸君に無理なる増産を、物資が缺乏し、人力の缺乏してをる時に、それにも拘はらず不斷よりも澤山生産をあげて戴きたいといふ無理な注文を強制するのであります。(拍手)利益を無視して死力を盡して國家のために増産をして戴きたいといふことを御願ひするのであります。もと／＼農は國の本なりといふことは、わが國の國民的心情であると私は考へる、國民的信念であると考へる。故に農がほかのものよりも、國の本なりといふ誠に輝かしい名前を自らかち得るのである、國家危急の際國民を養ひ得る、國家危急の際に兵を農村から出すといふ國の源泉であるからこそ國の本といふことがいへるのであります。もし國家危急の際に農村は算盤に合はんからこの程度でやめるといふことであるならば、何んでそんな種類の農が國の本でありませうか、私は一國の國內農業を極度に尊重するものであります。それはかやうな非常時において國家構成の重要部門と致して、どんな無理なことがあつても國家のために私を減して公に殉ずるといふ氣持、恰も農業者自體が日々扱つてゐるところの大なる生命のために、小さい生命を捨てるといふ一粒の麥が死して麥の收穫が出来るといふ、日々携つてゐるところにおいて教へられてゐるところの犠牲的精神、人に對する思ひやりの氣持、さういふものを彌が上に高調致して、國難の非常時を乗切る國家のために自分を捨てる、こういふことになればこそ、本當に農が尊いのであります。國內農業が極度にまで尊重せらるべき所以がそこにあると思ふ。農は國の本なりといふ言葉の眞意義はそこになくはならんと思ひます。われ／＼お互に國を養ふ、自らを養ふといふに國を養ふふ非常に大きな責務を分擔してゐるのであります。この分擔を日々振ふところの鍬先において誠心をこめて一粒でも餘

計に増産をする、一畝の薯でも餘計に増産することによつてはじめて國の食糧問題の解決が出来ることであるといふことを考へながら、倍舊の勸励をして戴くといふことのほかに方法がない、それをやるといふのがわれ／＼の勤めである農業者としての臣道實踐であると考へるのであります。(拍手) 社會の各員はそれぞれの職域を持つてゐる、それぞれの責務を負担してゐるのであります。今日のやうな時世になりましたは、それぞれの個々の人は自分のために儲けてゐるわけではありません。どういふことをしてゐる人もそれぞれ國家の一分子として國家のためにやるべきことをやつてゐる。自らを養ふとも人に養つてゐる譯なのである。その分擔してゐるところを出来るだけ完全に盡すといふことが國情が逼迫すれば逼迫する程大事なことになる。國情が逼迫するといふとわれ／＼國民は非常に焦躁な念慮に驅りたてられると思ひます。非常なる憂國の至情に燃え上らなければならぬと思ひます。しかしそれらの至情を何處によつて發し、何處によつて盡すのであるかと申すと、それはどこまでも自分の擔當してゐる分擔の方面、言葉を變へていへば職域において最善を盡し、憂國の至情をその方面に完成するのにならぬと思ふ。昔、英國の艦隊が數倍強力なる敵艦隊にトラハルガーで圍まれた。そうして大海戦をやつた場合に、劣勢をもつて優勢を制し大勝利を博したあのトラハルガーの海戦においてネルソン提督の掲げた信號は何であつたか

England expects everyman to do his duty.

英國は各人がその任務を遂行することを期待する、非常時におきまして國家はいつでも國民の各員に對してその職責を完成することを期待してゐることは東西古今變りはないと思ふ。この信號に應じて英國の海兵が勇敢無比なる戦争をしたために、劣勢の艦隊をもつて數倍の優勢な艦隊を殲滅致してトラハルガーの海戦に大勝利を博し、最近までの英國の富強の基を開いてゐるのであります。しかししてネルソン提督は、傷つて倒れた時になんと申したか

"Thank God! I have done my duty."

神に謝すわれはわが任務をなしたり。國民が各員の息を引取る時にとも角も自分は自分に課せられたところの職責を

遂行致したといふ言葉をもつてこの世を去つて行くことが出来たならば、その國は必ずや興隆すると私は思ひます。(拍手) われ／＼はこの危急の時期におきまして、農民と致しまして物資は少くとも、國際情勢においてやむを得ない、少いからといつて少い程度にやつてゆけばよいといふ譯にゆかない、今日戦線は大陸の彼方からすでに食糧の問題となつて、諸君の銃先に移つて來てゐる、戦線に臨んでゐる將士の弾丸がこれ切りしかないからこれだけをもつて撃ち合ひはおしまひだといつて引揚げてよろしいか、許すべからざることである。同じことが銃の先の戦線に移つて來てゐるのである。肥料が足りない、人手が不足だ、誠に無理極まることである。しかしながらそれに打ちかかつてゆくにあらずんばわが國の食糧問題を如何にする。肥料が足りないからといつて手をあげてしまふ譯にゆかない。足りなければ足りないでそこにいろ／＼なる創意と工夫と努力とをもつて、少い肥料を有効に使つて最も多くの收穫を得るやうに頭と手を動かすといふことが、われ／＼農民の責務であると思ふのであります。(拍手) 戦争は不可能を可能と致します、否不可能を可能とするといふ氣魄をもつて臨むのでなければ戦争といふものは勝つことは出来ない、無理だからといつてやめたら戦争は決して勝つことは出来ない。諸君の銃の前に戦線がある。その戦線を突破して我國をして勝たしめる所以は不可能を可能とするといふ諸君の精神力をもつてこれを補ふほかに方法はないと私は信ずる。(拍手) 私は當初に戦争といふものにおきましては、東西古今戦時における國家の要務といふもの、孔子が二千年前に申したやうに兵を足し食を足しといふことにあるといふことを申上げた。しかししてそれに附加へて孔子さまは民これを信すといふことをいふた、そこで子貢がさらに問を續けて「已むを得ずそれらのものがなくなつたならば何を先にしてよろしいか」かういふ質問をした。それに對して孔子さまはなんと答へられたか「兵を去れ食を去れ占より人皆死あり、民信なくんば立たず」戦時における一國の獨立には兵が大事である、これを足さなければならぬ食が大事である。故にこれを足さなければならぬ、しかしながら兵と食とのことは何であるかといふと、民の信といふものがそれを足しそれを豊富にする所以なのだ。もう一つ大事なものとは農民のうちにおける信といふことであると思ふのであります。民信なくんば立たず。民間に信用といふも

の行はれなければ如何に兵があつても如何に食が足つても一國といふものが成立つてゆく譯にはゆかない。兵を去れ食を去れ民信なくんば立たず、これまた東西古今同じだと思ふ。古今直面してゐるところの國難の如何に重大であるかといふことはほゞ皆さんは御承知のことと思ふ。その一々数字等をあげて詳しく申上げることが出来るならば、皆様のうち一人も残らずそれこそ燃え立つやうな熱意をもつて國のために滅私奉公をなさると思ひます。これをどの程度に申上げることが出来るか出来ないかといふことは、これは國際の情勢においていろいろの機密にわたることがあり、思はざる不利をわが國に及ぶことがありますから、或程度に限られてゐるといふことはやむを得ないことであります。一昨年のも米の問題でもつて、當大阪も非常に御困難があつたといふことはよく判つてをりました。東京にも僅かに一日位の米穀しかなかつたことがある。十二月十日以後の數日の危険状態といふものは實に心配でありました。私は政府部外にありましたが、やむにやまれずしていろ／＼お手傳ひをした。近縣を廻つて米の出荷をお願ひした、農會長各位にお集りを願ひ、組長各位にお集りを願つて供出米の督促をした、その時にさういふ危険なことであるならばなせ早く知らせんか、そんなことのために事件が出来て國がまづいたといふことになつては大變じやないか、なせ新聞紙はそれを報道しないか、といふ質問によくあひました。新聞社の責務は新しい事實を速に大衆諸君に報道することにあります。しかしながらそれ以上に大いなる責務として報道すべからざることの責務もまたあるのであります。報道して可なる範圍内において、新聞社は極めて忠實にその職分を實行して國民諸君に知らせておられるのであります。これによつてその紙面の報道の底に潜んでゐるところの、國家が直面してゐる國難の状態といふものをよく讀破して戴きたい、そうしてそれによつて非常時の覺悟を決めて職域奉公に邁進して戴きたいのであります。われわれは出来るだけ農林當局の行政官と致しまして出来るだけのことを勤めるのであります。物資供給、製造方面にあつておられる商工方面の方々も誠心誠意、工業の秘密などはお互に交換し合つて國のために生産に努められてゐるのであります。しかも只今の状態或は原料を外國から仰ぐことが出来ないとか、軍需の方に多くを向けなければならぬといふやうな状態で、誠に各方面に御不

便をかけてゐることもありますがやむを得ません。それらは政府と國民との間、國民の各業者の間、生産者消費者との間、お互に信をもつてこれを貫いてそれぞれが分擔して、信頼せられてゐる信頼に酬ゆる觀念を持ちまして完遂に努力致し、自分が一生懸命に職分に忠實に努力してゐると同じやうに、どの方面の人々もそれに努めてゐることを信頼致して國家がお互の信頼のもとに各方面一致を致して困難を乗切るほかに方法は無い、これ、國民信なくんば立たず、こゝろいふことであると思ふ。われわれは政府と致して國民諸君の信頼に値ひするやうな政府たらんことを誠心誠意努めてゐるのであります。われわれは農村諸君市民諸君の各方面において、それぞれの食糧報國のやり方についてベストを盡して、最善を盡して下さつてゐるといふことを信頼を致したいと考へるのであります。この頃は或地域において治安を保つために出来るだけ十分なる食糧を確保するといふやうなことを、考へる向がことによるとまだないと思ふ。その限られたる範圍内において食糧が確保せられて治安が安全に保たれたと致しましても、その隣のところに思はざる不測が起つて、國に不祥なる事件が起つたならば、管下の治安が安全に保てたからといつてもちつともよくはない。何の役にも立たないのみならずこのためにほかでもつて逼迫が起つたといふことになるならば、逼迫の原因はどこにあるかといふことになつて来る。一個人の周邊においても同じことである。そこでお互に思ひやりをして、殊に農業者でありますならば命を司つてゐる、取扱つてゐるものは生きものであります。岡山縣あたりの日照の多いところでは旱天のもとにおいて稲がまさに枯れんとしてゐる。よく見かける光景であります。農民が稲の根元を掌をもつて茶碗のやうに窪地をこしらへて薬罐水を注いでゐる、今に雨が降るかと思ひ、先を思ひ、國家のために一粒でも獲らうといふ誠心誠意もありません。或は少しでも獲つて金にしやうといふ氣持もありません。しかし私は大體において稲を枯らす、死なせるに忍びない、稲が赤くなるのを見てをれない、命のなくなるのを見てをれない……農民の至情からこれに對して薬罐水を注ぐであらうと私は思ふのであります。(拍手)況んや田植期時に入つて、手持の肥料が少いこれではどうして稲が成育するかといふやうなとき、何故に國家は肥料を早く届けてくれないかといふ氣持のあらせられること

はよく私に判ります。肥料を施すのに時期を失してはならない、生きものであるこのこともよく判る。極力肥料の製造
 會社肥料の輸入會社に對して時期を重んずべきことを申してをります。それ程生命を扱つてゐる生命を養つておられる
 農業者諸君といふものは、生命といふものについて最も深い諒解を持ち、信頼を持ち思ひ遣りがあるのであります。地
 位を變へて大都會における消費者といふことを考へたら如何でありませうか、食ふべき米がないといふことになつたら
 非常な問題である。さういふことを生命を扱つてをり思ひ遣りの深い農村の諸君が見逃せるはずのものではない、速に
 自分の米を半分にして供出してお互に忍ぼうじやないかといふ氣持になつて戴けるものと私は信ずる。(拍手)それが本
 當の農業者の氣持であると思ふ。四國の義農作兵衛が非常な飢饉にあつて二升の麥種を手握りながら餓死した。
 他の金持がこれを嘯つて「二升食はずに死ぬとはなんとといふ馬鹿が」といつた。農民の……本當の農民の心を知らざる
 もの、言葉であると思ふ。義農作兵衛が今日に至るまでその名前を稱揚せられてゐる所以は、一粒の麥が死んで麥の
 收穫が出来ると同じやうに、麥種を次ぎの時代廣く大なる水き生命のために捧げて甘んじて犠牲となつて死んだとい
 ふ農業者の思ひ遣りの深い、生命を扱ふもの態度として褒めるべきものが無限に永久にあるが故に、その名が今日に
 顯現せられてゐることと思ひます。(拍手)この義農作兵衛の誇りを持つ現代の農民諸君にして、現下の食糧問題が非常
 な難關に際會してゐる時に際して、足らざるものは精神をもつて補ふて増産に邁進される、作つたものは速かに供出し
 て消費者に對して援助されるといふことは、これは國の本たる農業を扱つておられる諸君としては當然になさるべき
 道實踐の道であると思は考へるのであります。(拍手)その意味におきまして皆さんが本當の道實踐を、農業増産を一
 人一人がお盡し下されんことを希望してやまないものであります。これが集りまして始めてわが國の食糧問題の解決が出
 來るであらうと思ふのであります。お互に信頼することの出来る政府となり、信頼することの出来る農民となつて戴い
 てこの難局を突破致したい。これをお願いしてともに協力してやる以外に、私は私の職務を全うする途はないと
 考へて、あらゆる機會に農民諸君に懇へてゐる次第であります。これもちまして私のお話を終ります。(拍手)

昭和十六年二月二十日印刷
 昭和十六年二月二十五日發行

非賣品

發行者 大阪府泉北郡高石町羽衣九六四
 財團法人富民協會代表者
 西村健吉

印刷者 大阪府北區堂島濱邊四丁目八
 合名會社 堂島高橋印刷所

410
 281

はよく私に判ります。肥料を施すのに時期を失してはならない、生きものであるこのこともよく判る。極力肥料の製造
 會社肥料の輸入會社に對して時期を重んずべきことを申してをります。それ程生命を扱つてゐる生命を養つておられる
 農業者諸君といふものは、生命といふものについて最も深い諒解を持ち、信頼を持ち思ひ遣りがあるのであります。地
 位を變へて大都會における消費者といふことを考へたら如何でありませうか、食ふべき米がないといふことになつたら
 非常な問題である。さういふことを生命を扱つてをり思ひ遣りの深い農村の諸君が見逃せるはずのものではない、速に
 自分の米を半分にして供出してお互に忍ぼうじやないかといふ氣持になつて戴けるものと私は信ずる。(拍手)それが本
 當の農業者の氣持であると私は思ふ。四國の義農作兵衛が非常な飢饉にあつて二升の麥種を手を握りながら餓死した。
 他の金持がこれを嗤つて「二升食はずに死ぬとはなんとといふ馬鹿が」といつた。農民の……本當の農民の心を知らざる
 もの、言葉であると思ふ。義農作兵衛が今日に至るまでその名前を稱揚せられてゐる所以は、一粒の麥が死んで麥の
 收穫が出来ると同じやうに、麥種を次ぎの時代廣く大いなる水き生命のために捧げて甘んじて犠牲となつて死んだとい
 ふ農業者の思ひ遣りの深い、生命を扱ふものの態度として褒めるべきものが無限に永久にあるが故に、その名が今日に
 顯現せられてゐることと思ひます。(拍手)この義農作兵衛の誇りを持つ現代の農民諸君にして、現下の食糧問題が非常
 な難關に際會してゐる時に際して、足らざるものは精神をもつて補ふて増産に邁進される、作つたものは速かに供出し
 て消費者に對して援助されたいといふことは、これは國の本たる農業を扱つておられる諸君としては當然になさるべき原
 道實踐の道であると私は考へるのであります。(拍手)その意味におきまして皆さんが本當の原道實踐を、農業増産を一
 人一人がお盡し下されんことを希望してやまないものであります。これが集りまして始めてわが國の食糧問題の解決が出
 來るであらうと思ふのであります。お互に信頼することの出来る政府となり、信頼することの出来る農民となつて戴い
 てこの難局を突破致したい。これをお願いしてともに協力してやる以外に、私は私の職務を全うする途はないと
 考へて、あらゆる機會に農民諸君に懇へてゐる次第であります。これをおもちまして私のお話を終ります。(拍手)

昭和十六年二月二十日印刷
 昭和十六年二月二十五日發行

非賣品

發行者

西村健吉

大阪府泉北郡高石町羽衣九六四

財團法人富民協會代表者

印刷者

合名會社 堂島高橋印刷所

大阪市北區堂島通四丁目八

410

281

終

